

熊との共存を考える

パネルディスカッション

2026.4.26(日)

13:00~15:00

開催地：気の里ヘルスセンター栃の木

伊那市長谷非持544-1

定員：先着70名



瀧井暁子 氏

NPO法人信州ツキノワグマ研究会
副理事長兼事務局長／けもの調査室代表
専門はニホンジカとツキノワグマ。主に伊那谷におけるツキノワグマの生態や対策について調査研究。長野県のクマ対策員として各地の出没現場の調査・対策の助言、人身事故の現場検証を行う。各地でクマ講座、クマ授業を行う。博士（農学）



牧田文男 氏

伊那市猟友会会長

長年地域の鳥獣対策に携わり現場の最前線で活動を続ける。日々の巡回から捕獲、緊急対応まで幅広い業務を担う。緊急銃猟においても現場の指揮・連携に貢献。その他、行政・大学との連携、新技術の導入にも積極的に取り組んでいる。



玉谷宏夫 氏

NPO法人ピッキオ 保全事業部ディレクター
軽井沢を拠点にツキノワグマの調査・保全・被害対策に20年以上携わる。長野県クマ対策員や農林水産省の野生鳥獣被害対策アドバイザーとしても活動し、現場のクマ対策の専門家として、地域の関係者と行政、研究者、クマの間を取り持つ立場を担う。

熊との共存について考えよう

近年関心が高まっている熊との関わりについて、保護・研究・地域の安全など、熊のスペシャリストをお招きし、さまざまな視点からお話を伺います。

お申込みフォーム

